

議長を除く全議員で構成される予算特別委員会（碓氷芳雄委員長、岡村和明・田中勝・西佐古晋平・三宅朗充各副委員長）において、延べ136人の委員が、令和7年度一般会計予算など51議案について、活発な質疑を行い、慎重に審査を重ねました。その審査における主な質疑と答弁を掲載します。

自民党・市民クラブ

【公立認定こども園開設】

問 幼稚園部分の園児と保育園部分の園児の生活時間は、どう設定するのか。

答 両方の園児が共に過ごす時間帯には、こども同士の学び合いや豊かな経験が積み重ねられるよう、また、保育園部分の園児のみで過ごす時間帯には、穏やかにくつろいで生活できるようにしていきたい。

【充実した英語教育の推進】

問 今後、英語指導助手の授業をどう増やしていくのか。

答 今後、中学校第1学年において、第2・第3学年と同様に全学級で週1回以上の授業を展開していきたいと考えている。

【病児・病後児保育】

問 病児・病後児の受け入れ施設を増やすため、どのように取り組むのか。

答 市の医師会を通じて、小児科医に対して事業実施の意向照会を実施するとともに、安定的な事業運営のため、国に委託料の増額を継続して要望する。



【拉致問題を風化させないために】

問 アニメ「めぐみ」での人権教育を全児童・生徒に実施すべきでは。

答 活用している学校の取り組み事例を紹介するなど、拉致問題を含めた人権教育のさらなる充実に努めたい。

【公立認定こども園の整備計画】

問 東区拠点園となるわかくさ保育園と近隣の公共施設をいかに連携するのか。

答 こどもや子育て家庭の支援を行う施設が集中する地域特性を生かし、近隣施設との連携を一層強化していきたい。

【減災への取り組み】

問 大規模地震や林野火災に備え、どのような対策を講じているか。

答 市民の生命を守ることを最優先し、水の確保や的確な避難対策、関係機関との協力体制の構築等に取り組んでいる。

【消防団サポーター制度】

問 大学生などの理解が得られるような観点で取り組んでいることはあるか。



答 やりがいや魅力を高めるため、活動内容を見直すとともに、活動を通じて得られるメリットを発信している。

【インクルーシブな公園の整備】

問 各区に一つずつは「インクルーシブな公園」を設けてはどうか。

答 公園へのアクセシビリティのしやすさなどに配慮することも重要であり、今後検討していきたいと考えている。

【毘沙門台駅のバリアフリー化】

問 駅と毘沙門台中バス停をつなぐ連絡通路への昇降施設設置は地域と連携して取り組むべきでは。

答 地域が目指すまちづくりを実現するため、引き続き地域と連携しながら、昇降施設設置の可能性を検討していく。

【瀬野川公園の売店】

問 駄菓子や菓子パンなどの軽食を売店で販売してはどうか。

答 指定管理者業務への影響など総合的に検討しながら、まずはキッチンカーを拡充し、賑わいを増やしていく。

【中長期的な観点での維持管理】

問 道路の維持管理など、ライフサイクルコストを考慮して予算編成すべきでは。

答 これまでもライフサイクルコスト等を考慮して予算編成しており、各施設の特性を踏まえつつ、引き続き取り組んでまいりたい。

【ファミリープールの再整備】

問 ワクワクするような流れるプールとウォータースライダーを造ってほしいがどうか。

答 市民ニーズの期待に応えられる内容になるよう、検討を進めていきたいと考えている。

【こども文化科学館等の整備】

問 合築される3施設は、リニューアル後どのような連携を図るのか。

答 多目的ホールにおいて、こども文化科学館、こども図書館、青少年センターの連携イベントなどを実施したい。

【持続可能なまちづくり】

問 「広島型公共交通システム」をどのように構築しようとしているか。

答 この取り組みは、全国初の取り組みで時間を要するため、目下の懸案課題について現行の枠内で対処しつつも、中長期的には将来の交通政策体系を見据えた根本的な治療とも言える新しいシステムの構築を同時並行的に進めていく。

市民連合・市民の声

【高齢者いきいきポイント活用】

問 地域活性化を後押しするような工夫を考えてもらいたいがどうか。

答 地域活性化に資する公共目的の事業とポイント事業の連携について、モデル的な取り組みを念頭に速やかに検討を進める。

【地域に開かれた対話的支援を】

問 「オープンダイアログ」の研修受講者からの意見と令和7年度の研修計画は。

答 「対話」によるケア手法が、相談支援の技術水準の向上につながったことを踏まえ、研修内容を充実させる予定である。

【休日部活動の地域移行を早急に】

問 複数の学校が合同で活動するクラブ活動を試験的に取り組んではどうか。

答 競技人口が減少しているクラブにおいて、試行的に複数校が合同でクラブ活動を実施することを予定している。

【救急車の病院対応時間の短縮を】

問 救急車の病院対応時間短縮に向けた実証実験では何が期待されるのか。

答 救急搬送の迅速化として、医療機関収容から検査・処置開始までの時間短縮につながることを期待される。

【安芸区の荒野橋の今後】

問 幅員が狭い荒野橋は交通に混雑が生じている。今後の対策はどうか。



答 橋入口付近への待避所設置等を検討しており、令和7年度は詳細な調査などを実施し、関係機関と協議を行う。

【広島復興の軌跡を世界へ発信】

問 Pride of Hiroshima展への今後の対応をどう考えているか。

答 より多くの人、特に若い世代を中心に、平和の尊さを伝え、地元企業への愛着を醸成できるよう集客に努める。



Pride of Hiroshima (プライドオブヒロシマ) 展

【被爆80周年記念事業】

問 被爆ピアノによる慰霊演奏会に本市はどのような協力を行うのか。

答 演奏場所の提供のほか、出演する高校生の選定や演奏会の広報などを行うこととしている。

【広島都市圏における救急医療体制】

問 夜間・休日の救急患者の受け入れ体制づくりの成果はどうか。

答 令和5年度は、広島地区で3万7652人、安佐地区で8476人の救急搬送患者を受け入れ、適切な医療を提供した。

公明党

【終活支援】

問 「エンディングノート」を活用した取り組みは大事だと思うが、本市の見解は。

答 高齢者が人生を振り返り今後の希望や思いを整理する重要性の普及・啓発の具体的取り組みの一つとして検討する。

【通級指導教室の新たな設置】

問 中学校の通級指導教室を、安佐南佐北エリアへ設置してはどうか。

答 今後、情緒障害通級指導教室を増設する際には、安佐北区や安佐南区の生徒が遠方まで通っている状況も踏まえ設置場所を検討したい。

【下水道事業の老朽化対策】

問 先端技術を下水道管検査にも積極的に活用すべきではないか。

答 新技術を活用して維持管理を高度化・効率化させる上下水道DXについて、国等の動向を注視し、導入を検討する。

【利便性の良い管理運営を】

問 市営住宅に予約制駐車場マッチングサービスを導入してはどうか。

答 一定の効果がある一方で課題もあるため、他都市における先行事例等を調査し、実現性を見極める必要がある。

【ごみ処理事業者の働く環境整備】

問 業務委託先の事業者に寄り添い、どのような取り組みを行っているのか。

答 実勢を踏まえた予定価格の算出、車両運転免許の取得費用に対する助成など、さまざまな取り組みを行っている。

【経済情勢に合った見直しを】

問 物価や人件費高騰に伴い工事の発注標準を見直すべきと思うがどうか。

答 予定価格の上昇分を考慮し、入札参加機会が適正に確保できるよう、発注標準の見直しの検討を行っていきたい。

【新中央市場の整備】

問 卸売業者と仲卸業者を力強く支える整備であってほしいがどうか。

答 使い勝手の良い市場となるよう、意見や要望をしっかりと受け止め整備を進めていく。

【市総合防災センターの活用】

問 同センターの市民研修に避難所運営の体験型メニューを追加できないか。

答 避難所運営に係る資機材の組立体験などができるよう、関係課と調整を図りつつ検討していく。



広島市総合防災センター

